



智頭林業における現状と課題

- 1 森林経営計画の作成が急ピッチで進行
森林経営計画制度開始から3年が経過し、
間伐計画の確実な実行が必要
森林経営計画の実行監理が急務
- 2 林業専用道の開設延長が増加
林業専用道で横断溝の路面排水が
機能せず、路面洗掘
路面排水に係る諸問題解決が必要

智頭林業における現状と課題

- 3 原木市場販売価格が下降
良材が適切な価格で販売されるような取
組が望まれている
原木の造材、仕分け能力向上が必要
- 4 自伐林家の動きが活発化
智頭ノ森ノ学ビ舎が設立、自伐林家が
自ら施業する動きが加速
自伐林家の意向に応じた自立支援が必要

智頭林業活性化に向けての対策

- 1 森林経営計画の実行監理
- 2 林業専用道路面排水対策
- 3 原木造材、仕分け能力向上対策
- 4 自伐林家の意向に応じた自立支援



智頭町 森林経営計画

森林経営計画制度開始から3年が経過
約44%の森林(私有林)で計画作成

確実な間伐実施のため、森林経営計画の実行
監理及び問題点把握が必要



- 1 間伐の進捗状況調査、問題点の有無確認
- 2 問題点に対する対応検討

森林組合

H24～26作成済森林経営計画

団地数 69 計画面積 6,738ha

間伐計画面積 2,064ha

間伐実施面積 292ha

間伐計画残面積 1,780ha

間伐実施面積／間伐計画面積
=進捗率14%

平成24年度作成計画⇒9団地が間伐未実施

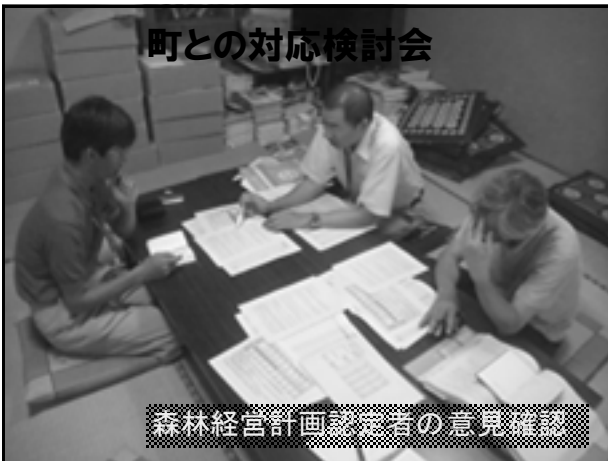
県、町、森林組合との意見交換会

【県】現計画における間伐が遅れている
対策が必要です！



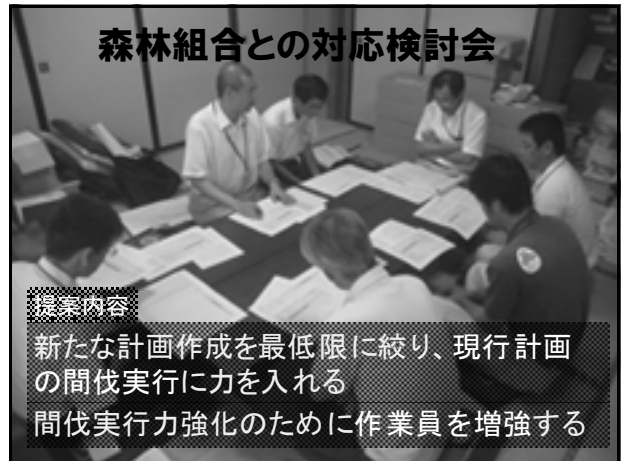
現状の情報共有

町との対応検討会



森林経営計画認定者の意見確認

森林組合との対応検討会



提案内容

新たな計画作成を最低限に絞り、現行計画の間伐実行に力を入れる
間伐実行力強化のために作業員を増強する

森林組合の方針

今後の森林経営計画の作成数を減らす

計画残期間の短い平成24年度、25年度
森林経営計画の間伐を中心に実施する

直営班を1班増やす、請負業者も増やし、
1事業体当たりの請負事業量も増やして計
画実行力を強化する

2 林業専用道路面排水対策



智頭町内の林業専用道

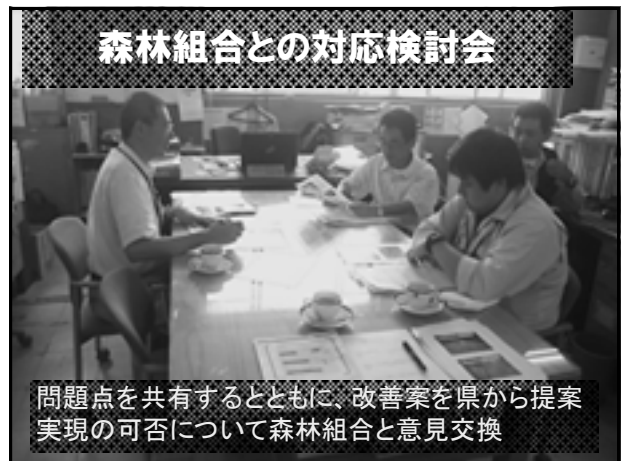
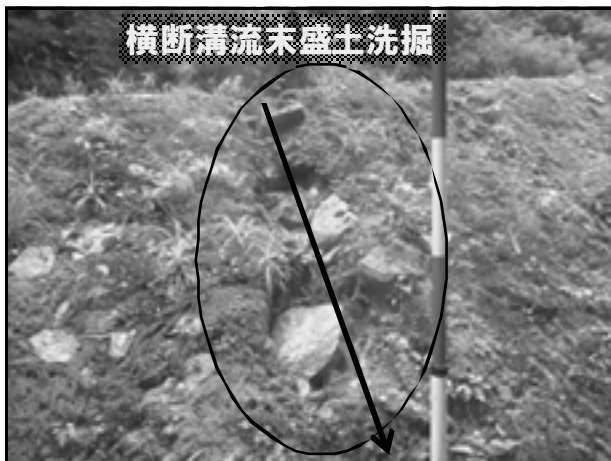
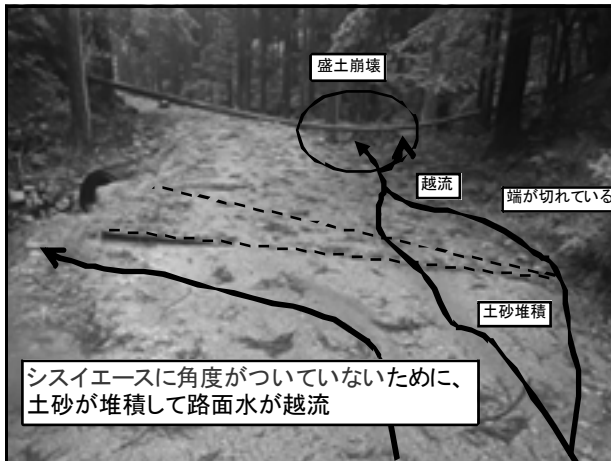
路面排水がうまくできず洗掘される事例
⇒ 路面崩壊と不要な経費の発生、森林所有者信頼低下



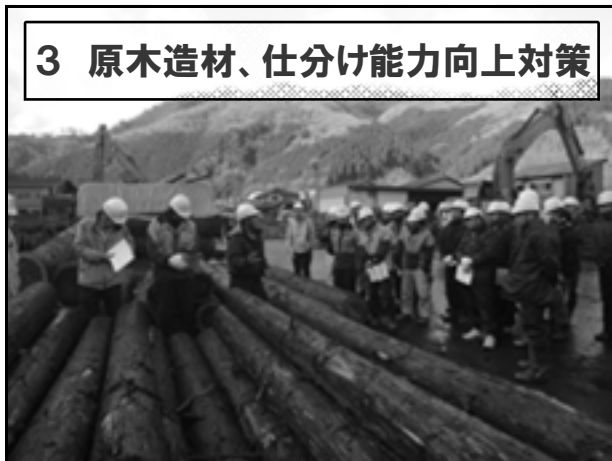
- 1 林業専用道の路面排水状況調査
- 2 問題点に対する対応策提案

林業専用道調査

横断溝(シスイエース)の設置間隔、設置角度、越流の有無、路面洗掘、流末盛土洗掘等を調査



問題点を共有するとともに、改善案を県から提案実現の可否について森林組合と意見交換

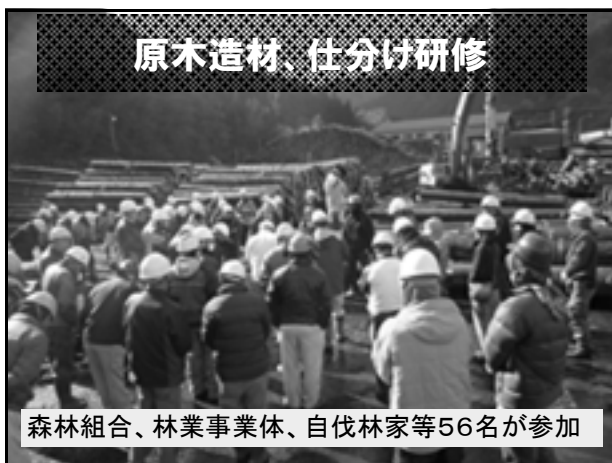


原木造材、仕分け能力向上

原木価格が低下する中、智頭材をより高く売るため、造材、仕分け能力向上が必要

↓

- 1 わかりやすい資料の作成
- 2 原木造材、仕分け研修の実施



座学研修

コブがある木 売値減少

コブの部分には虫が入っている可能性大

↓

結果、安値の合板用材 (関性木製木脚にも考慮)

座学での理解を深めるために、昨年度研修及び講師聞き取り結果を整理した資料を作成、配布

市場研修



	価格予想	価格答え	製材用材 合板用材
原木1	15,000	20,000	製材用
原木2	13,000	10,000	製材用 合板用

事前に選んだ24本の原木について研修生が価格予想、その後講師が予想落札価格とその根拠(長所、短所)を解説

真剣に解説をきく研修生



受講者の声 座学資料があったのでよく理解できた。
座学資料を使って社内研修を行った。
丸太を見ながら解説がきけて良かった。

**4 自伐林家の意向に
応じた自立支援**



**森林所有者が自ら施業する動きが加速
自伐林家が間伐等森林施業できる環境整備
が必要**


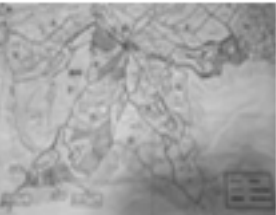
↓

- 1 自伐林家の意向確認
- 2 意向実現に向けて
寄り添う形での助言

自伐林家の意向調査

自伐林家主要5名の意向確認結果・・・

A氏 所有林+森林経営委託を受けた森林ですぐにでも、森林経営計画を作成したい。
⇒急ぎ検討、対応が必要





専業自伐林家 A氏の方針検討

- ①事業計画の確認
- ②事業内容に応じた選択する補助事業の検討
- ③森林経営計画作成の検討

↓

区域計画で森林経営
計画作成を決定
所有林+その周囲の
森林を受託する



現地調査


①森林資源状況
②作業道ルート踏査

↓

森林調査手法の助言
施業提案場所を検討
作業道ルート検討

↓

提案優先順位を決定
登記簿、公図取得指導




現地調査

森林施業提案場所
森林調査

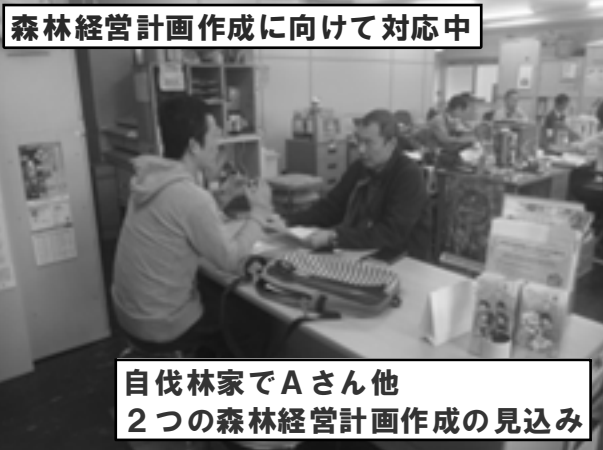
- ・樹高、本数、胸高直径
- ・施業履歴、地山傾斜等

↓

切捨or搬出を決定
森林所有者説得のため
の元データ



森林経営計画作成に向けて対応中



自伐林家でAさん他
2つの森林経営計画作成の見込み

まとめ

1 森林経営計画の実行監理

- 1 間伐の進捗状況確認、問題点の有無確認
- 2 問題点に対する対応検討

↓

【結果】

- ・新たな森林経営計画作成数を減らす
- ・計画した間伐実行力を強化するために、作業員(直営、請負)を増強

まとめ

2 林業専用道の路面排水対策

- 1 林業専用道等の路面排水状況調査
- 2 検討会で問題点解決策を提案

↓

【結果】
路面排水対策提案内容の一部が採用

まとめ

3 原木造材、仕分け能力向上対策

- 1 わかりやすい資料の作成
- 2 原木造材、仕分け研修の実施

↓

【結果】

- ・原木造材、仕分けの知識向上
- ・自主的に事業体内研修の動き

まとめ

4 自伐林家の意向に応じた自立支援

- 1 自伐林家への意向調査
- 2 意向実現に向けて寄り添う形での助言



【結果】

来年度施業に向けた2つの森林経営
計画が作成される見込み